

渡島大島

1 概況

上空からの観測では噴気はなく、地熱域にも異常は認められませんでした。

2 上空からの観測結果

渡島大島の山頂部には中央火口丘（寛保岳：標高 648m）があり、径約 200m×300m、深さ約 70m の火口があります。この火口内壁には 2 か所の地熱地帯が知られています。1991 年（平成 3 年）に札幌管区気象台が実施した機動観測によると、地中温度（10cm 深）は火口南東部の地熱地帯で最高 77℃、北部の地熱地帯で最高 38℃、南東部の地熱地帯ではごく弱い噴気が認められました。

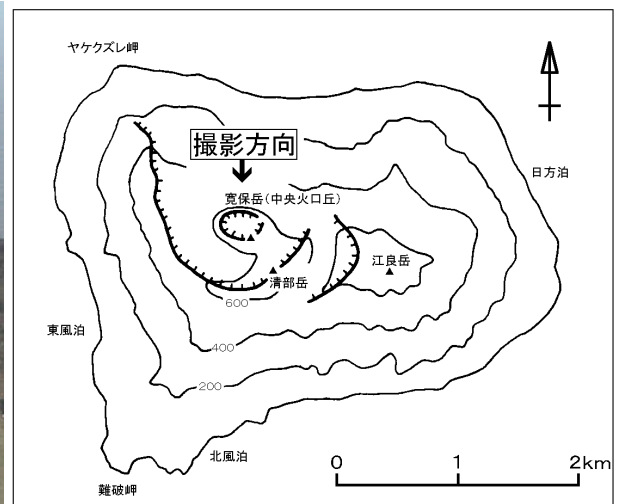
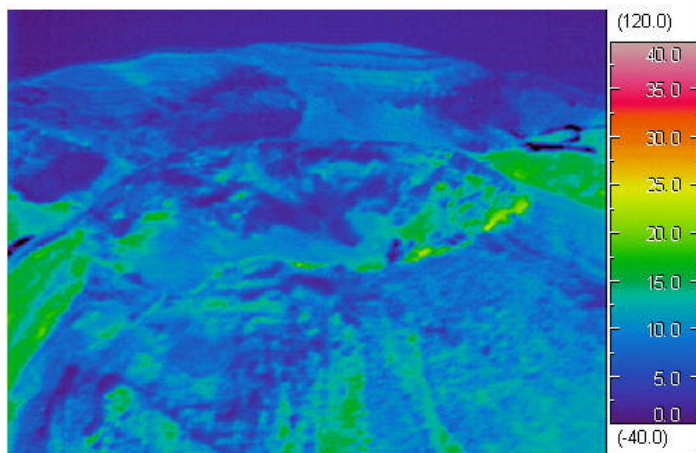
4 月 18 日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、噴気は認められませんでした。また、寛保岳の赤外熱映像観測では、日射の影響が大きかったため、地熱の有無を判別することはできませんでしたが、顕著な熱異常は認められませんでした。



RG:1 8; 1.00 SC: NORM

03/04/18

11:41:40



北側上空から見た寛保岳の赤外熱映像

（2003 年 4 月 18 日 11 時 41 分、天気晴れ：北海道開発局のヘリコプターから撮影）